

森づくりボランティア体験会 活動報告

美しく様々な生き物が暮らす豊かな横浜の森は森づくり活動により守り育まれています。森づくりに関心のある「森づくりボランティア」の皆さんと鴨居原市民の森で活動した成果について報告します。

鴨居原市民の森(緑区)

作業の目的

鴨居原市民の森の大半は、コナラやクヌギなどの落葉広葉樹からなる樹林地です。しかし、近年、コナラやクヌギ、シラカシなどが集団的に枯損する「ナラ枯れ」が発生しており、次世代の森林を形成する稚樹や実生(ドングリからの芽生え)の保全が急務となっています。

作業の実施 令和2年11月28日

参加者：18名(個人参加6名、4家族)、
鴨居原市民の森愛護会のみなさま

① 実生の保全



実生の掘り起こし

一晩水につけた後、
愛護会の方が
植え付けてくれました。

① 実生の保全



畑に植えられた実生は生育も良好で、新葉が多数見られました。
今後は愛護会の方々により林内への植え戻しが行われる予定です。

② ドングリの植え付け



どんぐりの種まき

どんぐり拾い

② ドングリの植え付け



どんぐりを植いた場所にはコナラの芽生えが多数確認できました。
今後は、これらが草刈り等で刈られることのないようマークするなどして保全していきます。

参加者の声

- とても楽しかったです。愛護会の皆様の協力体制が素晴らしかったです。
- 初めての体験でしたが楽しく参加できました。
- リフレッシュできました。初めての体験ができました。
- 将来、未来に直結する活動ができました。

△次号の発行予定△

NO.110は令和3年9月末頃の発行予定です。

よこはまの森

ニュース
レター

No.109

横浜市環境創造局 みどりアップ推進課 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10
tel045-671-2624 fax045-224-6627 よこはまの森ニュースレター HP QRコード⇒



横浜みどりアップ 育つび

今年も熱中症と新型コロナウイルス感染症に気付けましょう。

関東も梅雨に入り、これから本格的に湿度、温度ともに高くなり熱中症の危険性が高まっていきます。新型コロナウイルス感染症対策ではマスクの着用が必要となります。清掃や森の手入れなどで2m以上の間隔をあけて活動する際は、マスクを外し、熱中症警戒アラートを活用して無理のない活動をお願いします。



参考
環境省熱中症予防サイト
<https://www.wbgt.env.go.jp/>

フォローアップ研修 実施報告

今宿市民の森(旭区)

作業の目的

今宿市民の森では、平成30年度に策定された保全管理計画に基づいた管理を行い、令和元年度からフォローアップ研修を行っています。研修では、北川淑子講師より今宿市民の森でみられる植物についての紹介や管理の方法などの説明が行われました。愛護会では、利用者にもっと市民の森を知ってもらおうと手作りの樹名板を設置したり、野草の保全活動などを行っています。



活動日

毎月第3日曜日

DATA

会員数：約20名

事務局長：澤野真理子

連絡先：

marioko0404@gmail.com

森づくりボランティア向け研修 実施報告

研修実施報告

01

森づくり現場見学会 令和3年4月24日(土)

他の森づくり活動団体が活動する森を訪れ、現地を見学しました。森を歩きながら、日頃の管理で心がけていることや、楽しく活動するための工夫等について伺いました。

午前の部 もえぎ野ふれあいの樹林(青葉区)

もえぎ野ふれあいの樹林愛護会の皆さんから、保全管理計画に基づく各エリアごとの取組について、詳しく解説をしていただきました。希少な植物に対する丁寧なマーキングや、見事な竹垣など、参考になる取組が多く、皆さん感心した様子で説明に聞き入っていました。



午後の部 鴨居原市民の森(緑区)

そろいのオリジナル作業服で出迎えてくださった鴨居原市民の森愛護会の皆さん。今では、地域の皆さんに愛される豊かな森ですが、昔はごみ山だったそう。どのように手を入れてきたのか、みんなで楽しく活動する秘訣は何か、会員を増やすためにしている工夫は?などなど、活発な質疑応答が行われました。

研修実施報告

02

自然観察講習会 春の虫30種～トンボ編～

環境活動支援センター 令和3年5月24日(月)、31日(月)

トンボの生態や森との関わりについて学ぶ研修を実施しました。講師は梅田孝氏(日本トンボ学会)。

1日目には座学と、フィールドでの観察・捕獲体験を行い、2日目には、希少な昆虫の保全につながる流域管理作業について学び、実践もしていただきました。



草木に覆われ、水面が見えない状態の小川。



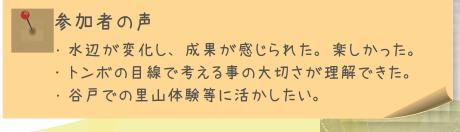
梅田先生による解説&デモンストレーション!



力を合わせて、作業を進める。皆さん手慣れたご様子・・・!



流れが見えるように!当日午後にはさっそく、羽を休めるトンボの姿も観察されました!



参加者の声

- ・水辺が変化し、成果を感じられた。楽しかった。
- ・トンボの目線で考える事が大切さが理解できた。
- ・谷戸での里山体験等に活かしたい。



樹林地管理団体活動助成事業のご案内

令和3年度 募集期間

令和3年5月10日～令和4年1月31日(必着)まで



対象となる団体

- ・市民の森愛護会(横浜市市民の森設置事業実施要綱第6条に規定する団体)
- ・ふれあいの樹林愛護会(ふれあいの樹林設置事業実施要綱第9条に規定する団体)
- ・森づくり活動団体(横浜市協働による森づくり要綱第11条に規定する団体)

活動に要する以下の経費を対象とし助成します

- ・団体の広報または活動に要するもの
- ・活動に必要な消耗品費、但し単価3万円以上の物品の購入は除く
- ・活動に必要な会議室・土地・車両・機材の借上料
- ・自然観察会、園内ガイドツアー等、公開性のある行事の開催に必要な損害保険料
- ・活動のために必要な切手等、但し電話代及び電子メール等の通信料は除く
- ・外部講師・外部指導者に対する謝金
- ・チラシやホームページ作成等、広報に関する活動に必要な最低限の委託料



*1 他の助成金を受けていないことが条件となります。

*2 助成率は対象事業費の10分の8です。

*3 1団体1年度あたり助成上限金額は10万円です。

助成金活用の一例:記念誌の発行
(新治市民の森愛護会)

詳細は横浜市ホームページでもご覧いただけます。

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyō/midori-koen/midori_up/1mori/kannridanntaijyosei.html
「樹林地管理団体活動助成事業」で検索!



お問い合わせ・申請書提出先

横浜市環境創造局 環境活動支援センター
住所 〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町213
電話 045-711-0635・FAX 045-721-6356

助成対象となるか?
など、
お気軽にお相談
ください!